

地域包括支援センターの運営状況

① 介護保険「要支援」「事業対象者」の認定者状況等について

■ 要支援認定者数 《平成29年12月末現在》

◎ 要支援 127名（要支援1⇒56名、要支援2⇒71名）

《参考》要介護（要支援）認定者数 （単位：名）

	要支1	要支2	要支計	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計
H29.3	46	63	109	166	163	138	119	114	809
H29.6	48	60	108	166	173	130	137	116	830
H29.9	53	67	120	180	162	135	144	111	852
H29.12	56	71	127	180	166	138	125	112	848

■ 介護予防支援サービス・総合事業利用者（H30年1月分）

◎ 要支援 43名（要支援1⇒9名、要支援2⇒34名）

◎ 事業対象者 11名

計 54名

【性別】・・・・・・・・・・ 男性⇒ 18名 女性⇒ 36名

【年齢構成】* 40～64歳・・・・・・ 1名 0名

* 65～69歳・・・・・・ 2名 0名

* 70～74歳・・・・・・ 1名 2名

* 75～79歳・・・・・・ 3名 4名

* 80～84歳・・・・・・ 3名 9名

* 85～89歳・・・・・・ 6名 9名

* 90歳以上・・・・・・ 2名 12名

※ サービス費用（H30年1月分）・・・・・・ 1,211,910円

※ サービス費用 平成29年度合計額・・・・・・ 14,441,920円

② 平成29年度の実績報告について

②-1 介護予防ケアマネジメント業務について

平成29年度は、介護予防及び日常生活支援を目的として、要支援1・2、事業対象者の方を対象に、訪問型、通所型、その他の生活支援サービスや、一般介護予防事業、NPOによるサービス等、多様なサービスを、対象者の状況に合わせて包括的かつ効率的に提供されるようにケアマネジメント業務を行いました。

また、平成29年3月に開始した通所型短期集中運動機能向上サービス（通所型サービスC）に平成29年度も引き続き取り組み、介護予防のとりくみを強化しています。

■介護予防支援サービス・総合事業利用者（H30年1月末現在）

要支援1：9名 要支援2：34名 事業対象者：11名

■通所型短期集中運動機能向上サービス（通所型サービスC）

利用者（H29年4月～H30年1月）：実人数19名

要支援1：2名 要支援2：5名 事業対象者：12名

※通所型短期集中予防サービス（通所型サービスC）

委託先：デイサービス浮鞭

対象者：廃用性症候群、急性疾患のない方

内容：毎週2回（火・金）×3ヵ月間（1期）で運動機能の向上、服薬管理、栄養改善、口腔機能改善、自立した生活に向けた学習、自宅の生活環境の調整、等に取り組むことで利用者の生活の自立を図ります。（第1期～3期の利用者13人中、7人の方の生活が自立しました）

②-2 ロコクロ体操教室（ロコクロウォーキング）について

ロコクロ体操教室				場所：藤縄集会所	
①	10月25日	（水）	9:30 ~ 11:30	4名	参加
②	11月1日	（木）	9:30 ~ 11:30	4名	参加
③	11月18日	（水）	9:30 ~ 11:30	5名	参加
④	11月15日	（木）	9:30 ~ 11:30	5名	参加
⑤	11月22日	（木）	9:30 ~ 11:30	4名	参加
⑥	12月4日	（木）	9:30 ~ 11:30	8名	参加
⑦	12月13日	（木）	9:30 ~ 11:30	4名	参加
参加者合計（延人数）				34名	
■高齢者の介護予防事業として、講師にスポーツトレーナー小林洋太氏を招き、セラバンドやストレッチポールを使った、ストレッチ等を行いました。身体を動かすことの必要性を実感し、地域での自主的な運動サークルの普及を目指しています。					

②-3 総合相談業務実績について

■平成29年度 相談業務実績

相談実人員 1,439人

相談延人員 1,714人 （H30年1月末現在）

②-4 地域のケアマネジャーとのネットワークについて

■ケアマネジャー情報交換会

※ ケアマネジャー：介護支援専門員

① 4月12日	(水)	9:30 ~ 11:30	18名 出席
② 6月14日	(水)	9:30 ~ 11:30	14名 //
③ 8月9日	(水)	9:30 ~ 11:30	16名 //
④ 10月11日	(水)	9:30 ~ 11:30	11名 //
⑤ 12月13日	(水)	9:30 ~ 11:30	15名 //
出席者合計			74名

■ (出席者) 地域包括支援センター、介護保険担当者、居宅介護支援事業所ケアマネジャー

■ケアマネジメント連絡調整会議

- ・ 開催日時 平成30年2月16日(金) 13:30~16:00
- ・ 開催場所 黒潮町役場 3階 中会議室
- ・ 出席者 地域包括支援センター、介護保険・福祉・保健衛生担当者
四万十市・黒潮町内居宅介護支援事業所ケアマネジャー 【28名】

②-5 地域ケア個別会議について

事例検討を通して、理学療法士・管理栄養士・薬剤師・歯科衛生士等の多職種専門職からアドバイスを受け、自立に向けての支援内容の検討やアセスメント力の向上、また地域課題の把握等を目的に地域ケア個別会議を開催しています。H29年度は『通所型短期集中運動機能向上サービス』の対象者としてのケース検討を中心に行いました。

① 5月19日	(木)	13:30 ~ 16:00	13名 出席
② 7月20日	(木)	13:30 ~ 16:00	15名 //
③ 10月19日	(木)	13:30 ~ 16:00	11名 //
④ 1月18日	(木)	13:30 ~ 16:00	16名 //
出席者合計			55名

②-6 「認知症サポーター養成講座」について

認知症について正しく理解し、さりげない気づかいや思いやりを持って接しながら、認知症の人や家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせる黒潮町とするために、地域で支える輪を広げていこうと認知症サポーター養成に取り組んでいます。介護事業所等連絡協議会のメンバーが講師になり、一緒に取組みを行いました。

日時	場所	受講対象者	受講人数
6月6日	伊与喜小学校	3、4年生	7名
6月13日	三浦小学校	4年生	10名
10月24日	保健福祉センター	郵便局、ボランティア等	37名
11月16日	大方高校	高校3年生	13名
11月24日	上川口小学校	3、4年生	13名
3月1日	佐賀総合センター	一般住民、ボランティア等	15名
3月11日	南郷小学校	4年生	9名

* 内 容 : 「認知症を学び地域で支えよう！」

- ◆ 「認知症とは？」
- ◆ 「認知症の予防とケア」
- ◆ 「認知症サポーターとは」
- ◆ 「具体的な対応のポイント」

②-7 「認知症についてのミニ講座」について

地域で開催されるサロン等に出前講座として、認知症についてのミニ講座を開催しています。認知症についての理解と、認知症を予防するためといった内容で、ミニ講座を開催します。

日時	場所	参加者
5月31日	御坊畑集会所	16名
11月16日	浮津集会所	13名
1月11日	上川口浦集会所	16名
2月21日	あったかふれあいセンター こぶし	17名
合計	4回	62名

②-8 「認知症に関する講演会」について

認知症は65歳以上で8人に1人の割合で発症されるとされており、誰でもなる可能性があります。日々の生活の仕方改善や予防ができる事がわかってきました。

出来る限り住み慣れた地域で生活できるように、認知症の予防、重度化防止を目的に講演会を開催しました。

- * 日 時 : 平成29年7月8日(土) 13:30～15:00
- * 場 所 : 総合センター2階大ホール
- * 内 容 : 講演『認知症を予防しよう！黒潮町でがんばろう』
- * 講 師 : 佐賀診療所 堀口 淳 先生(島根大学医学部精神医学講座教授)
- * 受 講 者 : 235名

②-9 「認知症介護家族の座談会」について

認知症の人を介護している家族の方等に、日頃の介護の悩みや相談について語り合い、思いを共有できる場として、座談会を開催しています。

日時	場所	参加者	備考
6月20日	保健福祉センター	12名	幡多家族の会と交流
9月19日	保健福祉センター	8名	聖ヶ丘病院薬剤師、看護学生
12月19日	保健福祉センター	3名	DVD視聴
3月20日	黒潮役場新庁舎	3名	
合計	4回	26名	

②-10 「脳のちょいトレ教室」について

認知症予防・進行抑制と、社会参加のきっかけづくりを目的として、平成29年度は大方地域と佐賀地域で開催しています。受講者が、教室サポーター（地域住民のボランティア）と一緒に、簡単な読み書き・計算などに継続して取り組むことで、脳の活性化を図ります。1月末に終了した大方教室において学習開始時と、学習終了時にMMSE（全般的認知機能検査）を実施し、得点の変化を測定（8名）した結果、7名の得点が上昇しました。また、受講者の方からは、「気持ちが明るくなった」「色んなことに意欲が湧くようになった」「友達と会えて嬉しい」との声をいただいています。

	大方教室	佐賀教室
開催期間	9月5日～1月23日（毎週火曜日）	10月4日～2月21日（毎週水曜日）
場所	大方あかつき館	佐賀町民館
受講参加者	8名	9名
サポーター数	6名	6名

②-11 「高齢者虐待対応」について

■ 高齢者虐待対応件数

養護者による高齢者虐待(疑い)件数

年度	対応件数	新規(再掲)
平成26年度	9件	4件
平成27年度	9件	4件
平成28年度	5件	3件
平成29年度	8件	8件

■ 黒潮町介護職員スキルアップ研修「くろしお学校」

平成27年度に介護施設職員による不適切な介護事例が2件確認され、虐待事例が1件発生したことを受けて、平成29年度より町内の介護施設職員(非正規職員を含む)より20名を対象に年3回研修会を開催したところ、町内8施設中6施設より18名の職員が参加しました。

第1回：7月5日(水)	前半：高齢者虐待とは？ 後半：グループワークによる事例検討
第2回：10月4日(水)	前半：高齢者疑似体験 後半：認知症ケアについて
第3回：2月21日(水)	前半：高齢者虐待とは？(再確認)、施設でのマニュアルについて 後半：グループワークによる事例検討 ※終了後、各参加者へ町長より修了証書が授与されました。

* 講師：大西病院地域連携室（社会福祉士・主任介護支援専門員）尾崎 恭子 氏

■ 黒潮町高齢者虐待防止ネットワーク会議

今年度は任期途中で委員長が退任されたため会長・副会長の選任や新規委員の紹介を行い、高齢者虐待に関する基礎的な知識を学ぶ研修会を開催しました。

- * 日 時：平成29年9月13日(水) 14:00～16:00
- * 場 所：黒潮町保健福祉センター 2階 健康研修室
- * 内 容：前半：講演『高齢者虐待とは』 後半：ワークショップ『事例を通して学ぶ』
- * 講 師：大西病院地域連携室（社会福祉士・主任介護支援専門員）尾崎 恭子さん
- * 出席者：15名

②-12 成年後見制度普及啓発講演会について

高齢者人口が増加する中で、認知症等で判断能力が低下した高齢者の契約行為や財産の管理・相続が課題となっており、高齢者を狙った消費者被害も増加傾向にあります。このように、高齢者の権利や尊厳を取り巻く状況が変化し内容も複雑化していることから、成年後見制度の普及啓発を目的とした講演会を開催しました。

- * 開催日程 : 平成30年3月10日(土) 13:30~15:00
- * 内容 : 成年後見制度に関する講演会と個別相談会
※個別相談会は講演会終了後(16:00~)に実施しました。
- * 講師 : 黒石 栄一 司法書士(高知県司法書士会会長)

②-13 高齢者見守りネットワーク(地域のネットワーク)づくりについて

東日本大震災以後、黒潮町においても災害対策が進められ要配慮者の把握が必要となっています。これまで民生児童委員を通じて「要援護者台帳」への登録の推進を行ってきましたが、平成26年度からは災害対策基本法で義務づけられた「避難行動要支援者名簿(同意あり)」の提供を行っています。それに伴い、社協の支援を受けながら、各地区では「個別計画」作成を開始しています。名簿等の提供や個別計画の作成は、災害時だけでなく平常時からの地域での支援体制づくりを目的としており、今後も災害対策と連動して高齢者見守りネットワークの構築を進めていきます。

■見守り協定について

見守り協定は、日常の業務の範囲において住民に関して何らかの異変等を察知した場合に、速やかに黒潮町役場に連絡するシステムです。平成28年度は新たに佐賀地区の金融機関(高知銀行佐賀支店)と、大方地区の金融機関(幡多信用金庫入野支店)との見守り協定を締結しました。平成29年度は、運送業者との協定を予定しています。

②-14 民生委員への情報提供及び高齢者実態調査について

平成29年度も民生委員に対して65歳以上の名簿を公開するとともに、民生委員協力のもと高齢者の実態調査を行いました。

また、この調査に基づき状態確認の必要と思われる方を抽出し訪問しました。

- 調査数：4,848人(大方地区：3,424人、佐賀地区：1,424人) H29.4.1時点
- 調査項目…居住確認、独居・高齢者のみ世帯、支援の必要性、入院・入所
- 訪問者数 78人(大方地区：64人、佐賀地区：14人)

②-15 「広報くろしお」への掲載記事等について

- | | |
|-----------------|---|
| 2017(H29)年 6月号 | 「認知症の人を抱える家族の座談会」お知らせ |
| 2017(H29)年 9月号 | 「認知症の人を抱える家族の座談会」お知らせ |
| 2017(H29)年 12月号 | 「認知症の人を抱える家族の座談会」お知らせ |
| 2018(H30)年 2月号 | 「早めに知って、家族で一緒に考えよう」
～成年後見制度の講演会&個別相談会～お知らせ |
| 2017(H29)年 9月号 | 「脳のちょいトレ教室」(佐賀教室)受講者募集のお知らせ |
| 2017(H29)年 9月号 | 世界アルツハイマー月間
【IWK 耳をすませば】：絵本「あんやと!ばあちゃん」 |

②-16 事業所連携について

あったかふれあいセンター職員や居宅介護支援事業所のケアマネと、認知症サポーター養成講座を開催したり、認知症カフェを実施するなど連携を図っています。